

【 花の期 如月 】

京都市立下京中学校
校長 安居 昌行

「準備と努力は、裏切らない」

年が明けて月も変わり、はや如月（きさらぎ）となりました。連日寒い日が続きます。学校ではインフルエンザも引き続き流行しています。手洗いうがい、適切な防寒など健康面でも細心の注意を払うことが大切な時期です。

さてこの月は、3年生は試験や面談など自分の夢や希望に向かって全力で駆け抜ける時ですし、1・2年生も一年間のまとめである学年末テストが後半に控えているとても大切な月でもあります。そこで、皆さんには「準備と努力は、裏切らない」という言葉を贈りたいと思います。これは、会議通訳者の長井鞠子さんの言葉です。

「できるだけ準備をして臨みたい。80%でいいや、と妥協するなんて嫌ですね。準備したぶん、努力したぶん、きっと発言者の思いが伝わる通訳にできると信じています。だって『言葉』には、限りはないのだから」（『プロフェッショナル仕事の流儀 “人生に迷わない 36 の極意”』NHK「プロフェッショナル」制作班より）

研ぎ澄まされた集中力と瞬発力を必要とする同時通訳者の第一人者である長井さんは、どんなに慣れた会議でも常に事前に参加者や会議の様々な背景などを徹底的に調べ、70歳を超えた今でも寝食を忘れて準備をされるそうです。そして、会議のキーワードとなる言葉を書き出して単語帳を作り、誰もが知っている基本的な単語でも、その文脈に沿ったより良い訳はないかと徹底的に考え抜かれるそうです。

皆さんにとっての“準備と努力”は、学んだことの復習はもちろんのこと、健康に留意して体調を整えること、脳の活性化を図るために早起きをするなど、たくさんあります。中学生の今だからこそ、できることに全神経をかたむけ、準備と努力をおこたらないでほしいと思います。あなたの思いをかなえる花を咲かすためにも。極寒のこの季節にも“花”は春を迎える準備をしています。



〈比良山の雪となぎさ公園の菜の花〉